

IGS国際シンポジウム

# アラブ世界の

# 女性と逸脱

グッドとバッドの境界で

アラブ世界の社会規範に異議を唱えるような、女性たちの逸脱的な言動や考え方は、アラブ社会に不安感を引き起こしたり、公的議論を巻き起こしたりしています。そのような女性たちの意図的・非意図的な逸脱は、適切なふるまいとはなにかを規定する社会的・文化的規範構造と、ジェンダー・人種・階級区分を社会的・政治的に統制する力の存在を、どのように暴き出しているのでしょうか？

この問いに向き合い、様々な年齢、階級、学歴のアラブ世界の内外の女性たちの経験をもとに考察したのが、2017年秋に刊行された『アラブ世界のバッド・ガールズ』です。本書は、女性たちは社会変化の主体であり、逸脱がその体現であること、そして逸脱はまた、抵抗と抑圧の現場であることを明らかにしています。そして、国際的な社会文化的影響と植民地主義の遺産が、どのように女性の不良行為を規定しているかを明示しつつ、21世紀の良・不良の境界における、女性たちの多様な経験を豊かに描き出しています。シンポジウムでは、本書の議論を継続し、女性たちの逸脱、アイデンティティ、アラブ社会の内外に属することの政治について探求します。

【コーディネーター Coordinator】

**ジャン・バズレイ** (IGS 特別招聘教授/ノースカロライナ大学チャペルヒル校)  
Jan Bardsley (Specially Appointed Professor, IGS/The University of North Carolina at Chapel Hill)

【研究報告 Research Report】

**ナディア・ヤクブ** (ノースカロライナ大学チャペルヒル校) 「アラブ世界のバッド・ガールズ」  
Nadia Yaqub (The University of North Carolina at Chapel Hill) Bad Girls of the Arab World

**ディヤ・アブド** (ギルフォード・カレッジ) 「米国とアラブ社会における愛情と逸脱を生きる：文化越境者としてのジレンマ」  
Diya Abdo (Guilford College)  
Navigating Love and Badness in America and the Arab World: The Dilemma of the Cultural Transgressor

【コメンテーター Commentator】

**戸谷陽子** (お茶の水女子大学)  
Yoko Totani (Ochanomizu University)

2018年10月14日(日) 13:00~16:30  
お茶の水女子大学共通講義棟1号館304室

Sunday, October 14, 2018 13:00-16:30  
Room 304, Inter-Faculty Building 1, Ochanomizu University

日英同時通訳あり  
Simultaneous interpretation available (English-Japanese)

要事前申込(入場無料)  
申込フォーム  
Prior registration required (Admission Free)

